



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 前澤化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7925 URL <http://www.maezawa-k.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,904	9.5	144	50.9	227	33.4	142	39.5
2020年3月期第1四半期	5,416	3.6	95	24.0	170	10.9	102	2.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 339百万円 (285.4%) 2020年3月期第1四半期 88百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.63	
2020年3月期第1四半期	6.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	43,667	36,408	83.4
2020年3月期	43,890	36,367	82.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 36,408百万円 2020年3月期 36,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		20.00	35.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,135	10.0	130	71.6	245	56.9	150	57.8	10.12
通期	21,180	5.0	535	42.5	750	35.8	460	32.3	31.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	15,732,000 株	2020年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	913,349 株	2020年3月期	913,349 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	14,818,651 株	2020年3月期1Q	14,949,551 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府からの自粛要請を受けて、個人消費の大幅な落ち込みや雇用情勢の悪化が生じるなど、極めて不透明な状況にあります。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界においても、戸建住宅・賃貸住宅を中心に新設住宅着工戸数が前年同期に比べ10%程度の落ち込みを見せるなど厳しい事業環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染予防と業績への影響を最小限に抑え効率的な事業運営を図ることを目的とした対策本部を設置し、衛生管理の徹底や通勤時の感染リスクを低減するための時差出勤・テレワーク勤務体制の構築など、事業リスクの低減に向けた対策を講じつつ、中期経営計画「Take Action2020」の最終年度として、各施策への取り組みを続けてまいりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上面では、新設住宅着工戸数の落ち込みにより、前年同期を下回りましたが、利益面では、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限されたこと等により、販売費をはじめとした諸経費が大きく減少した結果、前年同期を上回る結果となりました。

以上により、売上高49億4百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益1億44百万円（同50.9%増）、経常利益2億27百万円（同33.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億42百万円（同39.5%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

①管工機材分野

管工機材分野につきましては、売上面では、ビル設備分野製品である「ビニコア」や都市型水害対策製品である「雨水貯留浸透槽」は前年に引続き好調でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みの影響等により、当社の主力製品である戸建住宅向け製品の売上高は、前年同期を下回りました。

利益面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定していた大型の製品展示会が取り止めになったことや、自粛要請により営業活動が制限されたことにより、販売費をはじめとした諸経費が大きく減少した結果、前年同期を上回る結果となりました。

以上により、売上高は44億48百万円（前年同期比7.0%減）、セグメント利益1億91百万円（同66.9%増）となりました。

②水処理分野

水処理分野につきましては、多様な水処理システムの積極的な提案活動を行い、食品関係を中心とした工事及びメンテナンス業務の受注を図るとともに、収益改善を行うべく、商材販売についても注力してまいりました。

売上面では、メンテナンス業務や商材販売などで売上高が増加した一方で、前期に受注した工事進行基準適用案件の売上高の多くが、第2四半期以降に予定されていることから、工事売上高が減少し、全体としては前年同期を大きく下回る結果となりました。

利益面では、売上高が大きく減少したものの、経費削減等の効果により、セグメント損失の増加を最小限に抑えることができました。

以上により、売上高は86百万円（前年同期比34.1%減）、セグメント損失33百万円（前年同期は、30百万円のセグメント損失）となりました。

③各種プラスチック成形分野

各種プラスチック成形分野につきましては、売上面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響により、主要取引先からの受注額が大幅に減少し、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

利益面では、人件費や経費の削減に努めましたが売上高の減少が響き、前年同期を下回る結果となりました。

以上により、売上高4億38百万円（前年同期比23.7%減）、セグメント損失13百万円（前年同期は、11百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ2億22百万円減少し、436億67百万円となりました。これは主として、商品及び製品や投資有価証券が増加したものの、受取手形及び売掛金や有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ2億63百万円減少し、72億59百万円となりました。これは主として、その他に含まれている未払費用が増加したものの、未払法人税等や賞与引当金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ41百万円増加し、364億8百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「2021年3月期 業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、公表した業績予想につきましては今後も新型コロナウイルス感染症の影響が暫くは続くものと想定し、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の第2波等によって状況が更に深刻化することは想定しておらず、その影響額は織り込んでおりません。今後も新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,449	11,459
受取手形及び売掛金	5,282	4,883
電子記録債権	3,083	3,036
有価証券	1,500	1,400
商品及び製品	2,116	2,268
仕掛品	558	616
原材料及び貯蔵品	533	561
その他	588	696
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	25,110	24,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,111	13,111
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,040	△7,138
建物及び構築物(純額)	6,071	5,973
機械装置及び運搬具	12,324	12,334
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,941	△11,041
機械装置及び運搬具(純額)	1,382	1,293
工具、器具及び備品	18,263	18,250
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,952	△17,993
工具、器具及び備品(純額)	310	256
その他	132	150
減価償却累計額	△7	△11
その他(純額)	124	138
土地	4,497	4,497
建設仮勘定	65	104
有形固定資産合計	12,452	12,263
無形固定資産		
ソフトウェア	158	132
その他	23	23
無形固定資産合計	182	155
投資その他の資産		
投資有価証券	5,496	5,762
繰延税金資産	166	85
その他	632	631
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	6,145	6,329
固定資産合計	18,780	18,748
資産合計	43,890	43,667

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914	2,893
電子記録債務	451	458
短期借入金	430	430
未払法人税等	342	110
役員賞与引当金	37	—
賞与引当金	379	197
固定資産撤去費用引当金	20	20
その他	1,897	2,100
流動負債合計	6,475	6,211
固定負債		
役員株式給付引当金	19	23
退職給付に係る負債	600	583
資産除去債務	224	224
その他	204	216
固定負債合計	1,048	1,047
負債合計	7,523	7,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,854	26,698
自己株式	△1,045	△1,045
株主資本合計	35,559	35,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	1,297
退職給付に係る調整累計額	△304	△292
その他の包括利益累計額合計	807	1,004
純資産合計	36,367	36,408
負債純資産合計	43,890	43,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,416	4,904
売上原価	3,775	3,335
売上総利益	1,640	1,568
販売費及び一般管理費	1,544	1,424
営業利益	95	144
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	40	40
受取賃貸料	22	22
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	14	21
営業外収益合計	79	86
営業外費用		
支払利息	0	1
賃貸費用	2	2
自己株式取得費用	1	—
為替差損	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	5	3
経常利益	170	227
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
減損損失	14	—
特別損失合計	14	0
税金等調整前四半期純利益	155	227
法人税、住民税及び事業税	120	89
法人税等調整額	△67	△4
法人税等合計	53	84
四半期純利益	102	142
親会社株主に帰属する四半期純利益	102	142

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	102	142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	185
退職給付に係る調整額	7	11
その他の包括利益合計	△14	197
四半期包括利益	88	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2017年6月27日開催の第63回定時株主総会決議に基づき、取締役(社外取締役を除きます。以下同じ。)を対象とする業績連動型株式報酬制度(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、当社の業績及び株式価値と取締役の報酬との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットを享受するのみならず株価下落リスクをも負担し、株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

①取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、業績達成度等一定の基準に応じて当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する一定数の当社株式が本信託を通じて各取締役に對して交付されるという、業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株、当第1四半期連結会計期間の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、新設住宅着工戸数の減少等の影響により、当連結会計年度の業績は悪化が見込まれ、当連結会計年度中はその影響が続くと仮定を置いて会計上の見積り(主として、繰延税金資産の回収可能性等)を実施しております。

なお、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の終息時期等を含む仮定については重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,785	130	500	5,416	—	5,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	73	73	△73	—
計	4,785	130	574	5,489	△73	5,416
セグメント利益又は 損失(△)	114	△30	11	95	0	95

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	—	14	—	—	14

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,448	86	369	4,904	—	4,904
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	68	68	△68	—
計	4,448	86	438	4,973	△68	4,904
セグメント利益又は 損失(△)	191	△33	△13	144	0	144

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。